

株式会社 サンセイ・イサワ

2020年度環境経営レポート

(対象期間:2020年7月～2021年6月)



発行日:2021年9月30日

目次

	ページ
1. 環境経営方針	3
2. 組織の概要	4
3. 認証・登録の対象組織	4
4. 実施体制図及び役割・責任・権限表	5
5. 2020年度の環境目標に対する活動結果	6
6. 2021年度の環境目標と環境活動計画	6
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果 並びに違反・訴訟等の有無	7
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	7
9. 環境活動の紹介と活動風景	8

1. 環境経営方針

企業活動には「技術・品質・コスト」は非常に大事なものでありますが、人間が子々孫々と命を繋ぐには「環境・資源」は欠くことのできないものです。よって、我々は環境活動を第一に考え、高品質で安全・安心な製品をお届けし、社会に少しでも貢献できる企業を目指し日々邁進してまいりますので宜しくご支援をお願い申し上げます。



環境経営方針

基本理念

株式会社サンセイ・イサワは、理を持って汗する企業活動により、時代の要求する技術・サービスを学び、顧客に提供し、共に発展向上する事を経営方針として掲げております。

よって、生活の基盤である自然環境についても金型部品・機械部品等の生産を通して地球温暖化を軽減し、生態系の保護を重視した生産活動を目指します。

また、「SDGs」に謳われた17項目の持続可能な開発目標の達成を目指し生産活動をしてまいります。

基本方針

1. 環境に関連する法規制・条例や当社が約束したことを遵守いたします。
2. 生産材料の購入量と廃棄量を監視し有効活用すると共に、不良品・廃棄品の削減に努力いたします。
3. 地球温暖化の要因である二酸化炭素排出量を監視し、削減に努力いたします。
4. 産業廃棄物を分析し、REDUSE・REUSE・RECYCLE活動を実施いたします。
5. 排水量(または水使用量)を監視し、その削減に努力いたします。
6. 化学物質使用量を分析し、その削減に努力いたします。
7. グリーン購入やグリーン調達を積極的に進めてまいります。
8. 弊社が納入する製品又はサービスは、十分に環境に配慮し、推進していきます。
9. 環境活動は、定期的に見直し継続的に改善をしてまいります。
10. 環境経営方針を全社員に周知すると共に、一般に公開し、地域社会に貢献してまいります。

株式会社サンセイ・イサワ
代表取締役社長 安倍 由和

制定年月日 平成27年 9月 1日
改定年月日 令和 2年 5月29日(第2版)

2. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 サンセイ・イサワ
代表取締役社長 安倍 由和
- (2) 所在地
岩手県奥州市胆沢小山字中油地119



平泉町
(世界遺産)
中尊寺
毛越寺



(株)サンセイ・イサワ

- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 研削1係 佐々木 冬樹 TEL:0197-47-2020
FAX:0197-47-2041
E-mail:s-isawa@sansei.com

- (4) 事業内容
金型部品の製造 主要製品:パンチ、ダイ、治工具

- (5) 事業の規模
製品出荷額 5.2億円
主要製品生産量 6.7トン

従業員 53名
延べ床面積 2288㎡

- (6) 事業年度 2020年7月 ～ 2021年6月

3. 認証・登録の対象組織

認証登録範囲 全組織・全範囲

活動: 金型部品の製造

(加工製品)



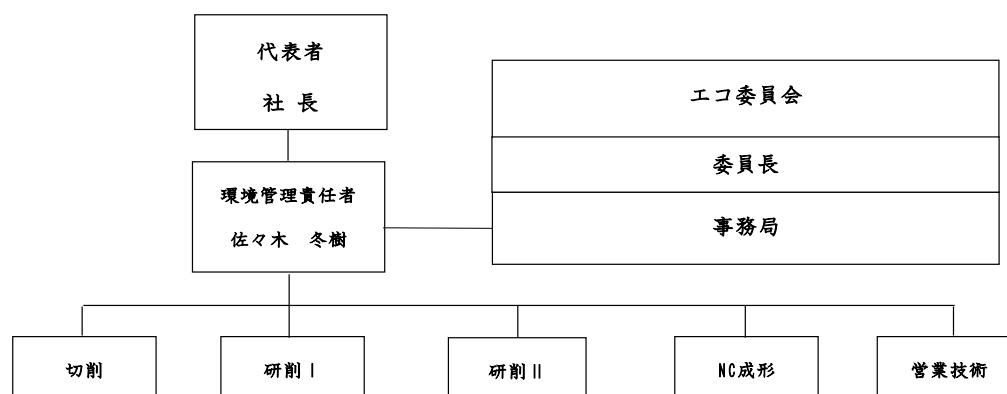
(非金属)



(金型部品)

4. 実施体制図及び役割・責任・権限表

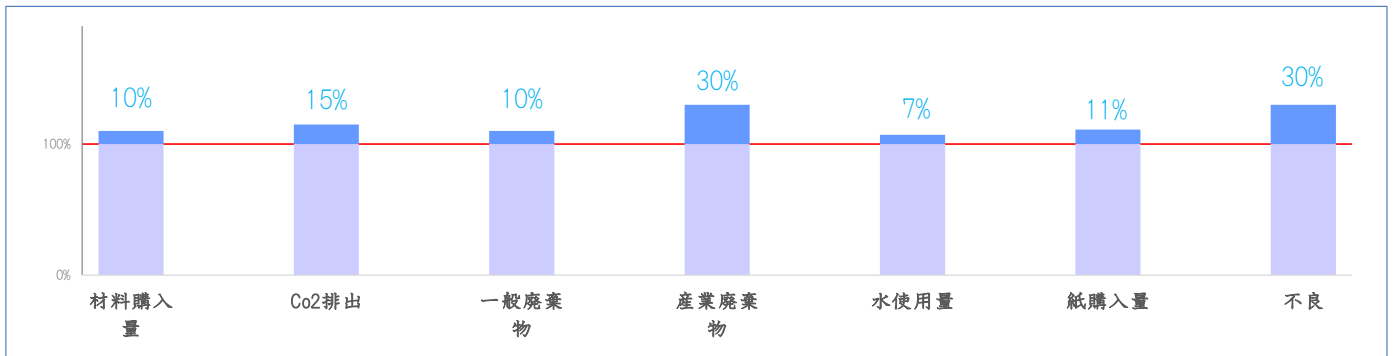
株式会社 サンセイ・イサワ 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・及び全従業員への周知 ・実施体制の構築 ・環境経営目標・環境活動計画書の承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境活動計画書を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの承認
エコ委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組み自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境活動計画書の原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付) ・環境活動計画の審議 ・環境活動実績の確認、評価
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 2020年度の環境目標に対する活動結果

項目	基準値	2020年度目標	2020年度実績	達成率
材料購入量の削減	16,386 kg	16,222 kg (2019年度より-1%)	14,750 kg	110%
Co2排出量の削減	415,445 kg-Co2	413,368 kg-Co2 (2019年度より-0.5%)	358,521 kg-Co2	115%
一般廃棄物の削減	2,721 kg	2,694 kg (2019年度より-1%)	2,437 kg	111%
産業廃棄物の削減	687 kg	680 kg (2019年度より-1%)	522 kg	130%
水使用量の削減	595 m ³	592 m ³ (2019年度より-0.5%)	554 m ³	107%
紙購入量の削減	640,000 枚	633,600 枚 (2019年度より-1%)	572,500 枚	111%
不良の削減	133 kg	132 kg (2019年度より-1%)	101 kg	130%



6. 2021年度の環境目標と環境活動計画

項目	基準値(2019年度実績)	目標	2021年度の活動計画
材料購入量の削減	16,386 kg	16,058 kg (2019年度より-2%)	・端材の再利用 ・切削の予備品削減 ・リポート品の工程の再検討
不良の削減	101 kg	1ヵ月66件 ※2021年度より件数にて集計	・不良対策会議による対策の実行 ・作業手順書の確認と見直し ・不良件数の表示
電力のCo2排出量の削減	341,115 kg-Co2	337,704 kg-Co2 (2019年度より-1%)	・扇風機やシーリングファン等で空気を循環させ工場内温度の適正化 ・エアコンのフィルター清掃、室外機の冷却対策(夏場) ・夏季における軽装、冬季における重ね着等の服装の工夫 ・すだれ(夏場)や断熱シート(冬場)の設置による室内の温度管理 ・パソコンの電源の管理徹底 ・間引き照明の実施 ・不使用室の電灯、エアコンのOFF
一般廃棄物の削減	2,721 kg	2,667 kg (2019年度より-2%)	・ジェットタオル導入の推進 ・紙コップ使用の削減 ・古紙再資源の分別回収 ・梱包材と緩衝材の再利用
産業廃棄物の削減	687 kg	673 kg (2019年度より-2%)	・廃棄物の見える化の推進(量、金額、委託先等) ・製造工程から排出させる金属屑の分別による再資源化と有価化 ・リサイクル可能な製品の購入推進 ・産業廃棄物処理業者の適正管理
水使用量の削減	595 m ³	589 m ³ (2019年度より-1%)	・設備管理の徹底 ・蛇口のストップバルブの調節
紙購入量の削減	640,000 枚	627,200 枚 (2019年度より-2%)	・社内文書の裏紙使用の徹底(掲示物、回覧、控え書類等) ・ペーパーレス化の推進(FAXや書類郵送を控えメールやPDFの活用) ・A4一枚ペスト運動による会議資料や事務書類の簡素化 ・コピーミスの注意喚起 ・タブレット購入の推進

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設、物質、事業活動等)	遵守
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ、廃プラ、廃ガラス、廃油等)	○
水質汚濁防止法	油類の保管、廃油の取扱い	○
消防法(少量危険物)	灯油タンク、機械油の保管庫	○
浄化槽法	浄化槽(水質検査記録)	○
フロン排出抑制法	第1種特定製品簡易点検(3ヵ月に1回) 専門業者による定期点検3年に1回	○
PRTR法	性状及び取扱いに関する情報(SDS)の受取り・発行	○
県条例	自動車等の原動機停止(アイドリングストップ)に関する規制	○

- ・環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
- ・違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。
- ・環境コミュニケーションにおいても外部・内部から問題になる事案の報告はありませんでした。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・ 統括
活動内容も年々中身が濃い内容になってきている中で、試行錯誤しながらも徐々に自分達のものになってきているという風に感じます。近年の気象状況からみても大事な取り組みになっていることは間違いなく、今後もエコ活動とSDGsをうまく組み合わせながら環境負荷削減にしっかりと取り組んでいただきたいと思います。
- ・ 次年度への目標
昨年度は、電力50%をカーボンフリーに出来たことは非常に良かった。しかしながら物造りを考えると不良の発生内容と取組姿勢に進展が無かったので、次年度は不良件数を月平均66件以下を目標に結果を出し顧客の信頼と向上に努

8.環境活動の紹介と活動風景

・外周清掃

年に2回、会社近隣のゴミ拾いと会社周りの側溝の清掃を実施し、空き缶など多くのゴミを回収しました。草刈りを定期的に行い会社周辺の美化に努めております。



・植栽、グリーンカーテン

グリーンカーテンの栽培、季節に応じた草花の栽培を実施しました。昨年度の経験を生かし少しずつ上手に育てていきたいと思っております。



・消火訓練

年1回の消火訓練、油漏れ対応訓練を行い緊急時に適切な対応が出来るよう取り組んでいます。



・環境教育

年度初めに全体朝礼で社員への達成結果や本年度の目標の周知と新入社員に当社の環境への取り組みについて理解を深める為に教育を実施しています。



・社会貢献

ペットボトルキャップ・プルタブを分別回収し、取引会社を通じ寄付をして社会貢献活動に取り組んでいます。

